

「平成 26 年 7～9 月期中小企業景気動向調査」調査結果報告
—消費増税後の 6 月調査と比べ、やや改善—

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行った「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細は別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	平成 26 年 9 月 1 日～9 日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 636 社
回収状況	回収数 611 社（回収率 96.1%）
調査方法	調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 26 年 4～6 月期の業況について

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－14.2 であった。平成 26 年 6 月の前回調査（－15.9）と比べて 1.7 ポイントの改善となった。消費税が 8%に引き上げられて以後初めての調査となった前回と比べて、わずかながらも改善となった。

②平成 26 年 7～9 月期の見通しについて

今回調査と同じく－14.2 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	当期	来期見込み	
二輪車部品製造	55	-28.3	-20.0	-14.5	業況DIは8.3ポイントの改善。売上額DI、受注残DIはプラス水準へ。
自動車部品製造	71	-15.4	0.0	-12.7	業況DIは15.4ポイントの改善、マイナスを解消。受注好調のコメント多くみられる。
機械部品製造	63	-3.2	-7.9	-17.5	業況DIは4.7ポイント悪化、2四半期連続のマイナス水準ながら、売上額や受注残DIはプラス水準にあり。
楽器部品製造	19	-15.8	-31.6	-31.6	業況DIは15.8ポイント悪化、3四半期連続の悪化。
繊維製造	23	0.0	21.7	30.4	業況DIは21.7ポイント改善しプラス水準へ。売上額、受注残、収益DIもプラス水準となる。
卸売業	87	-25.6	-25.3	-23.0	業況DIは横ばい。売上額DIは悪化、収益DIは改善。
小売業	68	-39.1	-31.3	-31.3	業況DIは7.8ポイントの改善。一部で消費増税後の反動減から回復とのコメント。
建設業	72	-17.9	-18.1	-11.1	業況DIは横ばい。人手DIは5四半期連続のマイナス水準（人手不足）。
不動産業	38	11.8	-5.3	5.3	業況DIは17.1ポイント悪化、6四半期ぶりにマイナス水準へ。
飲食・宿泊・レジャー等	14	-7.1	-28.6	-21.4	業況DIは21.5ポイント悪化。飲食の多くで業況悪化についてのコメント散見。

本件のお問い合わせ先

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9 階
静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510